



今月の表紙

9月16日、羽山の森美術館でこどもワークショップ「ちい先生のぐちゃぐちゃ遊び」が開催されました。顔や服に絵の具が付くのも気にせず大きなキャンバスに夢中になる河合純菜ちゃん（西福沢）。素敵なアート出来たかな？



▼ダウンロードはこちらから



▼川俣町公式ホームページ・各種 SNS はこちら



毎月1日発行
川俣町役場
福島県伊達郡川俣町字五百田 30
Tel (024)566-2111 (代)
https://www.town.kawamata.lg.jp/
E-mail/soumu@town.kawamata.lg.jp



CONTENTS - 主な内容 - 2023_11 November

- 03 今こそ、今日から
ごみ減量化
- 06 11月は「子育ての日」「子育て週間」「いい育児の日」
子育て特集
- 08 廃校利活用新聞vol.3
かわまた認定こども園&川俣小学校
- 10 運動会
- 13 かわまた四季フォトコンテスト
- 14 地元密着通信
- 16 まちのわだい
- 18 川俣美より/川高NEWS
- 20 ウキウキデイブック/近畿大学レポート
- 28 各課からのお知らせ
- 30 わたしの夢

令和5年度川俣町こども科学館事業

サイエンス ショー in かわまた

コミュニティ福島、スペースパーク、ムシテックワールドの講師による科学や工作を楽しめるサイエンスショーを開催します。

開催日時

11月25日(土) 先着 **30名**
午前9時45分～午後0時10分

開催場所 鶴沢公民館 多目的ホール

募集対象 町内在住の小学生(家族同伴可)

申込方法 11月15日(水)まで学校配付の申込書または電話にて中央公民館までお申し込みください。

【問い合わせ先】中央公民館 (TEL 565-2434)

暮らしの手帳

人の動き -population-

令和5年10月1日現在(前月比)

| | | |
|----|--------|------|
| 人口 | 11,215 | (-6) |
| 男 | 5,552 | (+2) |
| 女 | 5,663 | (-8) |
| 世帯 | 4,707 | (+5) |

今月の納税 -tax payment-

国民健康保険税 5期
介護保険料(普通徴収) 5期
後期高齢者医療保険料(普通徴収) 4期
納期限は11月30日(木)です。

今月の休日当番医 -doctor-

| | | |
|-----|---------------|--------------|
| 3日 | あんざい整形外科クリニック | TEL 565-3511 |
| 5日 | 村上医院 | TEL 565-3637 |
| 12日 | 佐藤医院 | TEL 566-2321 |
| 19日 | 済生会春日診療所 | TEL 566-2707 |
| 23日 | 十二社内科外科 | TEL 597-8907 |
| 26日 | 済生会川俣病院 | TEL 566-2323 |

※あんざい整形外科クリニックには、2名(整形外科、内科含む)の医師が在籍しています(在宅当番医時のみ)。

今日から 減量化



1人1日あたりのごみの排出量が全国ワースト2位の福島県。その福島県の中で川俣町はワースト2位の排出量となっています。地球温暖化やごみ処理費の増加など、ごみの排出量は私たちの生活にとっても大きな問題です。私たちの生活を守るため、今こそごみの減量化、始めてみませんか？

問 町民税務課 生活環境係（内線1307）

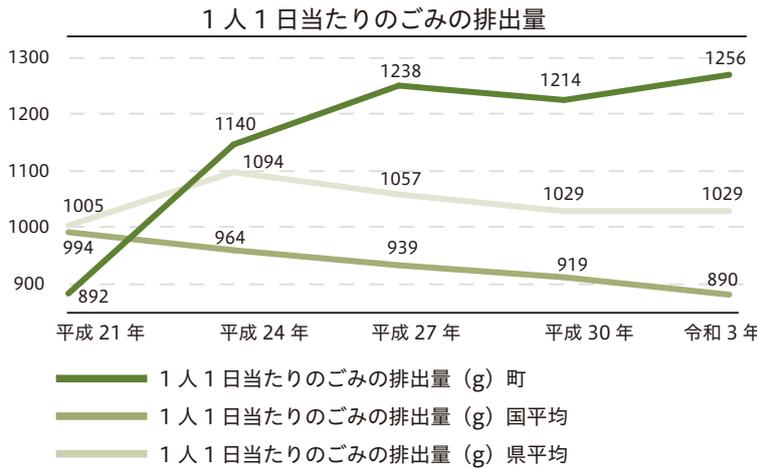
川俣町のごみ事情



川俣町の1人1日あたりのごみ排出量（※）は、令和3年度1256グラムとなり、全国平均の890グラムを大きく上回っています。

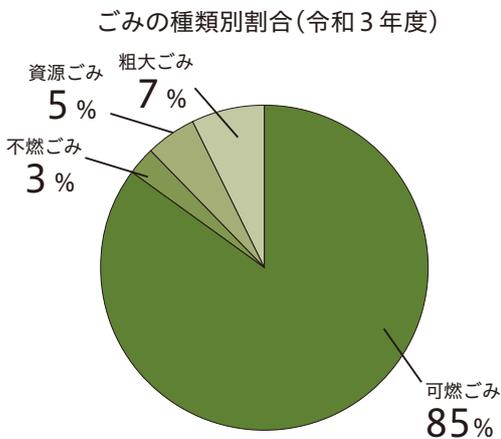
また、福島県の平均は1029グラムであり、その排出量は全国ワースト2位となっていますが、川俣町はその福島県内でもワースト2位の排出量となっています。

その要因としては、平成23年3月に発生した東日本大震災・福島



※1人1日あたりのごみ排出量とは、1年間に町内から排出されたごみ（事務所や飲食店等から排出された「事業系一般廃棄物」含む）の総量を、各年度の10月1日現在の住民基本台帳人口と、各年度の日数（365日または366日）で割った数値のことです。

第一原子力発電所事故以降に急増していることから、災害に伴う「片づけごみ」が一因とも考えられますが、震災から10年以上が経過した現在もいまだ高止まりが続いている状況です。



ごみの処分費増加中



川俣町内の家庭から排出されるごみは、『廃棄物の処理及び清掃等に関する法律』の規定により、町が収集、運搬及び処分を行う義務があります。町は、ごみ収集所に出されたごみの収集及び処分場までの運搬業務を、業者に委託しており、年間を通して業務委託料を支出しています。

また、ごみの処分は、伊達市保原町にある「伊達地方衛生処理組合清掃センター」で行っており、当センターでは、川俣町のほか、伊達市・国見町・桑折町のごみの処理を行っておりますが、各構成市町は、それぞれの市町から搬入されるごみの量に応じた負担金を支出しており、ごみの量が増える負担金も増えることとなります。それらを合わせた川俣町のごみ処理費用の総額は、年々増加しており、現在では年間1億4千万円を超える多額の費用がかかっています。